

第54回神戸電鉄粟生線活性化協議会

日時：令和7年5月29日（木）
午前10時10分～午前11時15分
場所：三木市役所 5階 大会議室

○事務局

それでは、ただいまから第54回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開催いたします。

私は、協議会の事務局を務めております三木市都市整備部交通政策課長の●●と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、協議会の会長の●●三木市長から御挨拶を申し上げます。

○会長

皆さん、おはようございます。

今日はこうしてお集まりいただきまして、ありがとうございます。第54回目の協議会となります。

この粟生線活性化協議会におきましては、活性化の取組の支援ということで、毎年10月に協議会として国土交通省をはじめ国への要望活動を実施しております。また、毎年5月に予算確保いただいたことのお礼ということで、これも三木市長としても兼ねて行っておりますが、今年もお礼に伺った際に国土交通省さんとの意見交換会も行っていたところであります。

こうした日頃の努力もありまして、令和7年度に神戸電鉄株式会社に予定されている車両更新に伴う事業費の増大部分におけるほどについても予算を満額確保いただいたと聞いております。

さきほど申し上げましたとおり、54回目となります。この協議会は、平成21年に始まりまして、粟生線、ひいては公共交通の確保・維持に向けた取組を進め、今では令和4年12月に策定した神戸電鉄粟生線地域公共交通計画で掲げております目標・理念の達成に向け、いろんな取組、また検証、評価、そして改善に取り組んでおるところでございます。

今年度1回目となるこの協議会におきましては、6年度の協議会の事業報告、歳入・歳出決算、そして7年度の取組方針案、歳入・歳出予算について審議をさせていただくこと

になっております。また、併せまして、粟生線の利用状況についても報告をさせていただきます。

また、例年でありましたら秋頃に予定しております本年度2回目の協議会におきましては、本協議会事業の進捗状況に加え、国への来年度の要望事項について協議することを考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

本年度も行政、また交通事業者、地域住民等の皆様が一体となって神戸電鉄粟生線地域公共交通計画に基づく事業を着実に推進をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。また、忌憚のない意見をお渡しいただければ幸いに思います。どうぞよろしくお願いをいたします。

○事務局

はい、ありがとうございました。

それでは、続きまして、会議の次第2でございます委員の紹介に移らせていただきます。

お手元に配布しております資料一番後ろにつけております協議会の規約の4ページ目、別表1の名簿を御覧いただきたいと思っております。ございますでしょうか。

その名簿に赤で表示させていただいております委員につきましては、人事異動等によりまして、前回の協議会から変更のあった委員となっております。

それでは、少しお時間をいただきまして、このたび変更がございました委員について御紹介させていただきます。名簿の上からになります。

兵庫県北播磨県民局加東土木事務所長、●●様でございます。一言お願いいたします。

○●●委員

よろしくお願いいたします。

○事務局

続きまして、兵庫県神戸西警察署交通第一課長●●様。本日欠席でございます。

次に、兵庫県三木警察署交通課長、●●様でございます。

○●●委員

三木署交通課長の●●でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。

○事務局

続きまして、三木市区長協議会連合会、緑が丘地区区長協議会長、●●様でございます。

○●●委員

●●です。よろしくお願いします。

○事務局

続きまして、神戸商工会議所、地域政策部長、●●様。本日欠席でございます。

次に、オブザーバー、下の表を御覧ください。2名のかたに変更がございました。

国土交通省近畿運輸局鉄道部計画課長の●●様でございます。

○●●オブザーバー

近畿運輸局の●●です。よろしくお願いします。

○事務局

最後に、神戸市西区総務部地域協働課長、●●様でございます。

○●●オブザーバー

神戸市西区の地域協働課の●●と申します。よろしくお願いします。

○事務局

以上となっております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、本日は、兵庫県土木部次長の●●委員の代理といたしまして、兵庫県土木部交通政策課長の●●様に御出席いただいております。

○●●委員代理

すみません、今日は次長の●●が別のほうで欠席させていただきまして、代理で出席させていただきました交通政策課の課長の●●です。よろしくお願いします。

○事務局

よろしくお願いいたします。

また、兵庫県立三木東・三木総合高等学校生徒指導部長の●●委員の代理といたしまして、●●様に御出席いただいております。

○●●委員代理

失礼します。兵庫県立三木東・三木総合高等学校生徒指導部の副部長をさせていただいております●●と申します。よろしくお願いします。

○事務局

よろしくお願いいたします。

それでは、もう一度名簿に返っていただきまして、本日欠席の御連絡をいただいている委員の御紹介をさせていただきます。

神戸市建設局道路計画課長の●●委員、三木市都市整備部道路河川課長の●●委員、小野市地域振興部道路河川課長の●●委員、兵庫県神戸西警察署交通第一課長の●●委員、兵庫県小野警察署交通課長の●●委員、神戸商工会議所地域政策部長の●●委員、三木商工会議所副会頭の●●委員、兵庫県立小野高等学校生徒指導部長の●●委員におかれましては、本日欠席の御連絡をいただいておりますことを報告させていただきます。

なお、本日、本協議会の委員25名のうち、出席は17名でございまして、出席委員数が過半数に達していることから、協議会規約第8条第4項の規定により、本会議は成立していることを報告させていただきます。

それでは、ここからの進行につきましては、●●会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○会長

それでは、会議の次第に沿って進行をさせていただきます。

議事事項3のうち、議事1号、令和6年度の事業報告及び議事2号、歳入・歳出決算及び監査報告について、一括にて事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

失礼いたします。私、三木市交通政策係長の●●と申します。説明は私のほうからさせていただきます。よろしくお願いいたします。

以下、御説明につきましては、着座にて進めてまいります。

そういたしますと、議事事項1番、資料1でございしますが、令和6年度の粟生線活性化協議会の事業報告についてということで、お手元に資料を御準備いただければと思っております。

資料1、こちらの資料は、神戸電鉄粟生線地域公共交通計画で掲げております3つの基本方針、それから基本方針に沿った主な施策ごとに実績を取りまとめた資料となっております。

ページの右側半分が令和6年度の実績としております。その実績の少し左側に1、2、3、4と縦に番号を振っているかと思いますが、こちらは事業番号ということで、こちらの番号を使いながら御案内をしてまいりますけれども、項目が非常に多くございますので、割愛しながら御案内を進めたいというふうに考えております。

そうしますと、まず1ページ目のところになりますけれども、最初3番を御覧いただきたいというふうに思います。

3番、こちらは、駅、駅前空間アクセス環境の快適性の向上の取組となりますが、3番の駅の美装化ということで、駅内にある空いている広告看板を大きなキャンパスに見立てまして、プロのアーティスト、絵を描くプロのアーティストのかたと小学生以下の子供が一緒になってアートを完成させていくといったようなワークショップ型の駅の美装化を実施いたしました。

実施場所につきましては、イベント当日にも●●委員にもお越しいただきましたけども、木幡駅をはじめとしまして、志染駅、小野駅、この3駅で実施をしたといったところでございます。

続いて、4番、5番のところになりますけども、こちらは神戸電鉄様の取組となっておりまして、小野駅エレベーターの更新、栄駅、葉多駅の駅舎塗装を実施されております。

続いて、6番、7番のところでございますけども、自転車との連携の取組といったところでございまして、輪行といいまして、自転車をロードバイクなどの分解できるバイクもあったりするんですけども、そういったものをかばんに入れて電車に乗り込むスタイル、輪行と言っておりますけども、輪行ですとか、レンタサイクルとの連携といったところから、スマートフォンアプリの「D I I I G」といったアプリを活用して、実際スタンプラリー、神戸電鉄粟生線サイクルラリーを実施したほか、7番のところにありますように、通常列車に自転車を持ち込むサイクルトレインの模擬調査を協議会の担当者にて実施いたしました。

少し下のほうに目を移していただきまして、10番のところでございます。こちらは、パーク・アンド・ライド駐車場の令和6年度の実績を記載してございます。小野、小野第2、三木、恵比須、それから広野ゴルフ場前、押部谷ということで、それぞれのパーク・アンド・ライドの利用台数、それから駐車台数、最後にパーク・アンド・ライドの利用率といったところの実績を記載してございます。

また、その下、11番でございますけども、小野駅前時間貸し駐車場の精算機のキャッシュレス決済ポイントアップキャンペーンといったものを昨年度、実施いたしました。

資料は裏面にまいります。事業の番号で行きますと、13番のところでございます。

こちら、三木市の取組でございますが、昼の時間帯におきます志染駅、三木区間の増便運行ということで、令和2年から継続させていただいておりますけども、昨年度、令和6年度も継続させていただいたといったところでございます。

その下、15番から21番のところには、まちづくりの推進といったところで、神戸市様、小野市様、三木市、各市で取り組んでおります住宅地の開発、魅力向上、企業用地の開発や企業誘致に関する取組を記載しておるといったところでございます。

それから、資料のまた次のページに進んでいただきまして、27番のところを御覧いただきたいと思います。

観光との連携の取組といった中で、企画乗車券の発行についてでございます。27番のところがございますのがおもてなしきっぷについてでございますけれども、神戸市交通局様との連携、それから神姫バス様、神姫ゾーンバス様とも連携を継続させていただいておりまして、販売枚数は6,350枚という結果でございました。これは、令和5年度と比べましても450枚ほど増加しているといったところの販売数の状況でございます。

それから、その下、28番、29番でございますけれども、それぞれ神戸市様、それから三木市と、主に高齢者のかた向けの企画乗車券の交付といったところで、いずれも令和4年度から実績が増えているといったところでございます。

資料の次のページ、裏面のところにまいります。

事業の番号で言いますと40番でございます。ここからはいわゆるモビリティ・マネジメントといったところございまして、公共交通の利用を促すような取組といったところを実施しておるといったところの記載でございます。

まず40番のところでございますけれども、兵庫県立三木東高校・三木総合高校の生徒様と連携させていただきまして、神鉄トレインフェスティバルの受付案内ですね、会場案内図をお渡しいただくですとか、そういったイベントの運営に実際、携わっていただいたほか、イベントにおいて協議会と共同でイベントブースを出展いたしまして、ブースに来られたかたに生徒様が手づくりでつくられた特製の缶バッジを渡して下さったりですとか、生徒のかたが制作された粟生線沿線の魅力発信動画を放映していただくなど、沿線の魅力発信という点でも御協力をいただいたといったところでございます。

続いて、41番から43番でございますけれども、こちらは神戸市様、三木市、小野市様、それぞれに中学生や高校生に向けた出前講座でありますとか、公共交通の説明、利用促進というところで地域に入らせていただいたといったところの記載でございます。

それから、45番でございますけれども、こちら三木東高校様との連携といったところの取組でございますが、生徒様が制作された粟生線沿線の魅力発信動画をイベントブースだけではなくて、神戸電鉄車内の電光掲示板ですとか、鈴蘭台駅、それから三木駅のデジ

タルサイレージのところで放映をさせていただきました。

資料をまた1ページめくっていただきまして、事業番号51番、52番のところにまいりたいと思います。

事業番号51番と52番でございますけども、51番で七夕装飾列車、クリスマス装飾列車の運行といったところでございますが、こちらのほうは、沿線の幼稚園、保育園、保育所に御協力いただきまして、列車の装飾等を実施しておるところでございます。

また、その下、52番につきましては、令和5年度に運行を再開しておりますけども、「電車に乗ってハッピークリスマス」といったところを6年度も運行したというところでございます。令和6年度は139名のかたに御参加いただきました。

それでは、また次のページ、資料裏面にまいりたいと思います。

こちらが資料1の最終ページになってございます。まず、事業番号で行きますと55番のところには、栗生線サポーターズクラブの会員数を掲載しております。また、その下、56番の取組でございますけども、栗生線サポーターズクラブの取組ということで、サポーターズクラブの運営委員のかたに各種取組を実施いただいております。①から⑦までございますけども、駅の風鈴装飾でございますとか、清掃活動、こういったところにボランティアの活動を実施いただいております。

また、その下、57番でございます。栗生線サポーターズクラブの会員が近年、減少傾向にあるといったところがあるんですけども、この会員の増強に向けまして、栗生線サポーターズクラブを知っていただく機会を増やす取組としまして、栗生線沿線のきれいな風景が載ったようなポスターにこのたび刷新をしております。そのポスターを今、車内ですとか駅などに掲示をしております、周知、PRの強化を開始しておりますといったところでございます。

どういったポスターかと申しますと、配布資料の1番として資料の後ろにつけておりますけども、またよろしければ、お時間あるときに、また後ほどでもけっこうですので、御覧いただければと思いますけども、非常にきれいな電車の車両と花ときれいな風景が載っているようなポスターになっておるといったところでございます。

それでは、資料に戻らせていただきまして、資料の事業番号で行きますと61番の御説明に進めさせていただきますけども、コロナ禍以降、通常開催2年目となりました神鉄トレインフェスティバルは、参加者数が3,850名ということでございまして、令和5年度の実績と比べますと、約30%増加した約900人の参加者数が増えたといったところ

で、非常に多くのかたに御参加いただいたといったところでございました。

資料1についての御説明は以上とさせていただきたいと思います。

続いて、このまま資料2の説明を進めさせていただきたいと思いますので、お手元に資料2を御準備いただきたいと思います。

それでは、議事2号ということで、令和6年度の協議会の歳入・歳出決算ということでございまして、上のほうが歳入、下のほうが歳出といったことで記載してございます。

まず歳入ですけれども、1の負担金、予算額1,600万円に対しまして、決算額は1,587万8,912円ということで、こちらは、沿線3市と神戸電鉄様の負担金でございます。

2の繰越金、3の諸収入については、記載のとおりということでございまして、決算額合計は1,588万319円といったところでございました。

また、歳出のほうですけれども、1の運営費につきましては、決算額29万4,836円。それから、2の事業費、利用促進事業費でございますけれども、1,560万の予算に対しまして、決算額は1,558万5,679円ということでございました。

3番の返還金、4番予備費は御覧のとおりでございまして、合計で決算額1,588万319円ということでございました。

なお、こちらの会計監査は神戸市様にいただいておりますので、その御報告につきましては、神戸市様からいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○●●委員

神戸市都市局の●●です。よろしくお願いいたします。

令和6年度神戸電鉄栗生線活性化協議会歳入・歳出決算につきまして、決算書と証拠書類等を照合しました。いずれも適正に管理されており、違算なきことを確認いたしましたので、ここに御報告いたします。神戸電鉄活性化協議会監事、●●。

以上です。

○事務局

ありがとうございました。

それでは、事務局からの説明は以上とさせていただきます。

○会長

ありがとうございました。

議事1号、2号、何か御質問、御意見等ございますでしょうか。

せっかくですので、今、名前の出ました●●さん、美装化について、せっかく立ち会われたので、何か。突然振って申し訳ないですけど、何か感想等ありましたら。

○●●委員

雨でね、ちょうど、木幡の駅で。ちょっと来てくれたかたには申し訳ないなと思ったのと、車で来られるんですよね、皆さんね。そしたら、その車をどこに置くかです。そばに駐車場があるんですけど、何百円か要ってね、悪いなというのは思いました。

それで、やってる最中、写真を撮っていただけて、軽いテントの下でやってたんですけど、もうちょっと設営する場所を、私が個人的に思ったことですけど、もうちょっと駅寄りにね。邪魔になるかも分かりませんが、そんなにたくさん乗降者があるわけでもない時間帯なんで、もうちょっと、あんなに端っこにせんでもいいのになというのは年寄りの考えです。もうちょっと目立つところにやってもらったらよかったなというのと、一番は雨が悪かったなと。

あと、出来上がった制作が乾かさないといけないので、描いて、来てくださったかたの集合の写真でも撮ったらよかったのになと。後、もう自然解散になってたんで、描いてくださった子供たちとかね、そういうやった喜びというのがちょっと欠けたかなというのが本当に私の個人の意見です。

以上です。すみません。

○会長

突然すみません。ありがとうございます。

今、いただきましたテントを目立つところだとか、写真を撮ってはどうかとか、貴重な意見、ありがとうございます。

何か御意見がありましたら、事務局。なかったらいいですけども。

○事務局

そうですね、事務局の●●と申します。

●●委員、ありがとうございました。

そうですね、木幡駅、確かに終わった後に写真を撮り忘れたなというのが正直ありました。なので、志染駅と小野駅については、やはり子供たちと一緒にやってるところも記録になるというところがあるので、写真は撮るようにいたしました。

あと、雨については、当日の天候もあって、確かにどれだけ人が来てくださるかといったところの心配もあったかなと思うんですけど、設営場所については、やはり安全上の話

もあるのかなと思うので、また神戸電鉄様ともその辺は、こういった意見をいただいたと
いったところをまた共有させていただきながら、次回もし開催する場合は、そういったと
ころも注意していきたいなと思います。ありがとうございました。

○会長

ありがとうございます。

ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。

はい、どうぞ。

○●●委員

2点あるんですが、1点はこの事業1の、事業番号で言うと7番で、サイクルトレイン
の模擬調査を実施されたかと思うんですけど、どのような課題を把握されて、今後どう、
今年度どういうふうにしていくのかというあたり、少し教えていただければと思う。

あともう一つ、10のところで、パーク・アンド・ライドの利用率のデータを出していた
だいたんですが、これは昨年と比べてどんな雰囲気なのか、駅によって違いがあるのか、
そのあたりも教えていただきたいというか、そういうふうな資料があれば、よろしくお願
いします。

○会長

事務局、いかがでしょうか。

○事務局

少し資料を御準備しますので、少々お待ちください。

まず、事業番号7番のところのサイクルトレインの模擬調査といったところでござい
すけども、こちらの模擬調査は協議会の沿線市ですとか、神戸電鉄様の担当者にて実際に
一般のかたがする前にどんな課題があるのかといったところの抽出も含めて模擬調査をさ
せていただきました。その際に、何点かあるんですけども、そのうち、一番気になるとい
うか、何個かだけお伝えさせていただきますと、自転車、意外に持ってみると幅を取ると
いう言いかたがいいのか分からないですけども、神戸電鉄沿線の駅のホームの広さによっ
ては、自転車を駅のホームと垂直に待っているような形、要はドアが開く側に向けて自転
車を向けて待っていると、ホームをけっこう占有してしまうといったところがありまし
て、そこが利用者の妨げ、通行されるかたの妨げになっておったような駅もございま
した。なので、ホームで待つ際の待つ場所ですとか待ちかたですね。自転車の持ちかた、そ
ういったところの周知は必要になっていくのではないかとといったところはまず一つ課題と

して見えたところかなと思っております。

もう一つは、自転車を実際に車両内に持ち込む際に、やはり利用されているかたが、既に車両に乗られているかたが多くて、自転車を置くようなスペースが確保できなかったといった事例もございました。なので、その自転車を置くようなスペースをいかにして確保していくか。こちらについては、まだ解決方法は見つけられていないところではあるんですけども、そういった課題が今、出てきておるかなといったところでございました。

○事務局

失礼いたします。パーク・アンド・ライド駐車場の活用というところで、実績を昨年度のものと比較させていただきたいと思います。ここには令和6年度の数値だけ上げておるんですけれども、口頭で申し上げます。

令和5年度につきましては、パーク・アンド・ライドの利用台数、1万4,006台。続きまして、駐車台数が3万415台。すみません、合計のところを読ませていただいております。パーク・アンド・ライドの利用率としましては、令和5年度は46%ということで、パーク・アンド・ライドの利用台数自体が約1,600台増えておりまして、利用率につきましても、3%増となって49%となっております。

個々の駐車場について、若干の増減等がございますが、特にここが増えておるといったようなことは、目立った数字の変化はございません。全体的に増えておるということで御理解ください。

○会長

はい、ありがとうございました。

いかがでしょうか。よろしいですか。はい。

ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、一旦ここで質疑応答がありませんので、この議事については承認を得る必要がございますので、議事1号及び議事2号について、御承認いただけますでしょうか。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

はい、ありがとうございます。

では、続きまして、議事第3号、7年度の取組方針案及び4号、歳入・歳出予算について、一括して事務局から説明をお願いします。

○事務局

それでは、引き続きまして●●のほうから御説明を進めてまいりたいと思います。

まず資料3と4でございますけれども、まずは資料3からまいりたいと思いますので、お手元に御用意をお願いいたします。

そうしますと、議事3号ということで、令和7年度の協議会の取組方針案についてということでございます。

こちらのほうは、計画値、公共交通計画の目標・理念及び基本方針に基づきまして、行政、交通事業者及び地域住民等の各関係者が主体となりまして、公共交通の維持・活性化に継続して取り組んでまいりますというところでございます。

その下のほうに各計画の基本方針ごとに主な取組を掲げておりますので、確認をさせていただきたいと思います。

まず（1）基本方針1に基づく取組ということでございますけれども、大きく3つ、3点上げてございます。

まずアですけれども、鉄道安全輸送設備等整備事業費補助によります支援ということでございます。次にイですけれども、駅的美装化の実施。最後にウ、パーク・アンド・ライド駐車場のキャッシュレス化というところでございます。

まずアでございますけれども、国、県、沿線市による補助に加えまして、協議会といたしましては、冒頭、会長の御挨拶にもございましたが、引き続き国への要望活動の実施により支援をしていくというところでございます。なお、国への要望内容の詳細につきましては、次回、秋頃に予定しております協議会で御協議をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、イ、駅的美装化の実施というところでございますけれども、駅利用者の快適性の向上のために駅的美装化、引き続き実施してまいりたいと考えております。昨年度実施いたしました小学生以下のお子様を主な対象とした駅的美装化の方法のみに限らず、昨年度から連携させていただいております三木東・三木総合高校の生徒様とも連携したような方法など、栗生線への愛着ですとかマイレール意識の醸成が図られるような取組を進めてまいりたいと考えております。

また、ウのパーク・アンド・ライドでございますけれども、駐車場の利便性を高めまし

て、利用促進をするためにパーク・アンド・ライド駐車場の精算機のキャッシュレス化に取り組んでまいりますとともに、キャッシュレス化の周知・PR、それからキャッシュレス決済を活用した駐車場の利用促進策を昨年を引き続き実施をしていきたいというふうに考えております。

続いて、（２）の基本方針２でございます。

アの鈴蘭台のまちづくり、こちらは神戸市様の取組でございます。イでございますけれども、イは三木市のほうで新たな住宅地の整備ですとか、住宅地から駅へのアクセス交通の確保、充実というところで記載してございます。それから、資料は裏面でございますけれども、ウのところでございます。こちらは、小野市様の取組でございますけれども、兵庫小野産業団地企業利用促進ということでございます。最後、エのところでございますけれども、鉄道及びバスの連携によるおもてなしきっぷの販売というところでございます。

この４つの中で特にエでございますけれども、おもてなしきっぷ、こちらのほうは、協議会が実施する取組となっております。さきほどの令和６年度の実績報告でも申し上げたとおり、近年、販売枚数は伸びている傾向でございます。なので、引き続きバス事業者様とも連携をさせていただきながら、おもてなしきっぷの販売継続、ひいては公共交通利用の更なる定着を図ってきたいというふうに考えております。

最後、（３）基本方針３に基づく取組でございます。

こちらのほうは、ア、モビリティ・マネジメントの推進。それから、イの利用きっかけとなる乗車イベントの実施。それから、ウの通常列車でのサイクルトレインに向けた実証実験ということで記載してございます。

このうちウですけれども、新規の取組といたしまして、鉄道を運行されておる神戸電鉄様にも御協力をいただきながら、通常列車の車両へ自転車をそのまま持ち込むサイクルトレインに向けた実証実験を行いまして、有効性や効果はもとより、安全性ですとか、安定運行への支障の有無についても検証していきたいというふうに考えております。

資料３の御説明は以上とさせていただきます、続いて資料４をお手元に御準備いただきたいと思います。

そうしますと、資料４、議事事項４号でございますけれども、令和７年度の協議会の歳入・歳出予算案というところでございます。

上のほうが歳入ということでございまして、令和７年度の予算額、１の負担金が１，６００万円、２の繰越金、３の諸収入が御覧のとおりでございまして、合計１，６００万

2, 0 0 0 円ということでございます。

歳出につきましては、令和7年度予算額1の協議会開催経費等に係る運営費40万円、イの事業費、利用促進事業費1, 560万円、3の返還金、4の予備費については、御覧のとおりでございまして、合計1, 600万2, 000円ということでございます。

歳入・歳出につきましては、いずれも令和6年度予算額と同額となっております。

ひとまず資料3、4につきましては、説明は以上とさせていただきます。

○会長

はい、ありがとうございました。

それでは、議事3号、議事4号につきまして、御意見また御質問があれば、挙手にてお願いいたします。

よろしいですか。また、なければ、後で思いついたということであれば、手を上げていただいてもけっこうです。取りあえずよろしいですかね。

(「なし」の声あり)

○会長

では、質問がないようですので、これについても御承認いただく必要がございます。

議事3号及び議事4号について御承認いただけますでしょうか。よろしいでしょうかね。

(「異議なし」の声あり)

○会長

はい、ありがとうございます。3号、4号については承認をされました。

続きましては、報告事項に入ります。栗生線の利用状況について、神戸電鉄様から報告をお願いします。

○●●委員

神戸電鉄の●●でございます。

平素は弊社事業に対しまして御理解並びに多大な御支援を賜っておりますことをこの場をお借りしてあらためてお礼申し上げます。どうもありがとうございます。

それでは、資料に基づきまして、栗生線の利用状況について御説明をさせていただきます。

以後、着座にて御説明をさせていただきます。

それでは、資料5を御覧ください。

まず1ページ目でございます。1ページ目には、2014年度から2024年度の10年間について、実の利用者数の推移を示してございます。2014年度におきましては850万人以上の人がおりましたけれども、その後、沿線人口の低下と共にどんどん利用者数が減ってきているということでございます。2020年にはコロナの影響が一番大きく出まして、600万人を超すというような状況にまでなっておったというところでございます。

その後、年を追うごとにコロナからの回復ということで増えてまいりまして、2024年度には2022年12月に決定をいたしました新計画であります目標700万人を達成するところまで回復をしたというところでございます。

ただ、このグラフを見ていただいて、2014年から2019年、この低下の傾きに定規でも当てていただくと、ちょうど2024年のところに当たっているというようなことでございまして、コロナで生活様式が変わって、在宅勤務等の影響があるとはいうものの、ここまでは回復してきたと。逆に言うと、沿線人口の低下と共に本来の姿まで戻ってきたというところかなというふうに思っております。

ただ、25年以降については、これと同じように増えていくかということ、なかなかもう難しいというところで、24年以降については、もうコロナからの回復はないものというふうに考えざるを得ないということで、ここで括弧書きにさせていただいておりますけれども、目標を達成しましたけれども、今後については、楽観が許されないような、そういう状況であるというところでございます。

続きまして、2ページ、それから3ページ、4ページに月別の利用実態と、それから4ページには券種別の利用実態というところで、2019年から24年の数字を上段に示してございます。また、下段の表には、2024年とそれぞれの年度との対比というところで、上段に増減数、下段にパーセンテージということでお示しをさせていただいております。

まず、2ページ、3ページ目を御覧いただきますと、下の段の最下段でございます。対19年度、要するにコロナ前と比べてどうかということになりますと、まだまだコロナ前には当然回復をしていないというところでございます。ただ、1ページのグラフでも御紹介しましたように、栗生線については、年々、コロナ前から減少傾向にありましたので、その傾向のトレンドとほぼ戻ってきているというところかなというふうに思っております。

2019年度でいいますと、3月以降は順調に回復をしてきておることが各月で表されているかなというふうに思います。ただ、うるう年の関係でありますとか、回数券を廃止した影響とかがありまして、月によってはちょっとマイナスという数字が出ているところもありますけれども、おおむね全ての月で回復傾向にあったというのが今までのところということでございます。

それから、4ページ目でございます。

4ページ目は、定期及び定期外というところの比較をさせていただいております。下のほうのところを見ていただきますと、20年以降については、順調に回復をしておりまして、回復の最初のうちは定期外が定期に比べると回復が大きかったというところがございますけれども、近年については、定期外については、ほぼ一巡して、定期はある程度戻ってきておるというような状況であるというところでございます。

ただ、この表には示しておりませんが、2025年4月と2024年4月を比較しますと、増加率がプラスの0.3%というところまで落ち着いてきてしまっておるというところがございます。一番下のコメントにもありますように、定期はまだ1.7%と増加になっておりますけれども、定期外については、マイナス1.3%というような状況でございます。

4月から大阪では万博が始まりまして、在阪の鉄道はけっこう万博の影響を受けておりまして、プラスに大きく転じておるというようなところがございますけれども、大阪から離れている鉄道については、例えば弊社であるとか、能勢電鉄であるとかというような会社は、ほとんど万博の影響が受けられてないというようなところがございまして、なかなか他社に比べると、増加が見込めていないというようなところがございます。我々も少し努力が足りないところもございますけれども、今後についてもインバウンド、あるいは関西圏以外のところから来られてるお客様に対して、沿線のほうに来ていただけるというように働きかけを強めていきたいというふうに考えておるところでございます。

それでは、5ページ目を御覧ください。

5ページ目、6ページ目には、粟生線の利用実態を線別、あるいは駅別に示したものでございます。線別でいいますと、一番多いのは粟生線と他社局との連絡というところですよ。その次に多いのは、粟生線内というところがございます。それから、その次に粟生線と有馬線というところがございます、ここが大部分だというところがございます。

それから、下の段ですけれども、これが駅別に表したものでございまして、一番右側にそのパーセンテージを示してございます。市別に申しますと、神戸市が46.7%、三木市が36.5%、小野市が16.7%という、この比率でございまして、実はこれ、前年度と比較しましても、0.1変わるかわからないかというような、ほぼこのパーセンテージについては固定化されてるというようなところでございます。

続きまして、6ページを御覧ください。

これが前年度の対比ということで表してございます。真ん中の小さいところに示しておりますけれども、対前年で言いますと、プラスの2.1%というような状況であるというところでございます。

それから、一番下の表でございすけれども、駅別に増減を示してございます。一番大きく増加をしておりますのが木津でございまして、10.7%というところでございます。木津については、工業団地で働いておられるかたが増えたということが一番大きな要因かなというふうに思っております。

それ以外に大きく伸びているところでございますけれども、パーセンテージだけで言いますと、藍那の8.7、それから市場の7.6、それから葉多の11.7というところではございますけれども、この3駅については、パーセンテージこそ大きいですが、もともとの乗客数が少ないものですから、少し増えただけで、大きく跳ね上がってしまっているというところでございますので、栗生線の全体からすると、僅かだというところでございまして、原因については、ちょっと不明というところでございます。

それと、比較的安定して増加しておりますのが三木と大村でございまして、三木が4.2、大村が5.4というところでございます。これは、栗生線全体からしても倍ぐらいの伸びになってございます。また、2024年度においても、この2駅については、平均よりも倍以上増えていっているということで、この2駅については、比較的、近年、利用が増えておるというようなところでございます。三木駅については、駅のアクセスがよくなったということが大きく影響してるのかなというふうに考えております。ただ、大村については、分析がしっかりとできてなくて、はっきり分からないところですが、商業施設の利用が増えているのかどうかとか、そういうところもあるのかなというふうに思っております。

あと、マイナスが出ておりますのが、僅かですけれども、栄、押部谷、それから緑が丘というようなところで、基本的に周りに大きな住宅が開発されておるというところでござ

いますけれども、住宅地が開発されてから随分たちますので、かなり少子・高齢化が進んできておるといようなことが影響しているのかなというふうに分析しているところでございます。

それから、続いてつけております別紙1、別紙2でございますけれども、まず別紙1については、それぞれの月の利用者数をグラフ化しておるものでございます。何となく月の傾向、上下はあるんですけれども、右肩上がりになっておることがこれを見ていただくと分かるかなというふうに思います。

また、別紙2のほうは、それを月ごとに棒グラフ化したものでございます。各月ごとに多少のばらつきはありますけれども、年を追うごとにコロナからの回復をしてきておるといところでございますけれども、1月、2月、3月のところを見ていただくと、2024年と25年を比べていただくと、少しちょっと伸びが緩慢になっていってるのかなというところが見て分かるというところでございます。

栗生線の利用状況について御説明をさせていただきました。ありがとうございます。

○会長

はい、ありがとうございました。

目標は達成したものの、2014年からずっと下がってきているのを見れば、おっしゃるように、これ以上というのは、なかなか状況的には見だしにくいという話じゃなかったかと思いますが、御意見、御質問等ございましたら、挙手にてお願いいたします。

せっかくの機会なので、神姫バスの●●さん、神戸電鉄の状況を聞かせていただいたんですが、神姫バスのほうもたぶん人手不足等、同じかと思うんですが、コロナの後、いかがでしょうか。突然振って申し訳ないんですが。

○●●委員

我々の事業についても同様、2020年のコロナの影響を受けまして、6割ぐらいまで減ったものの、最近の状況につきましては、9割強ぐらいまで回復しております。

運転手不足の状況につきましては、やはり慢性的な運転手不足の関係から、採用を強化しております、最近の我々の採用で来られたかたのお話を聞きますと、我々、新しいメディアでTikTokを使った採用活動をしておりまして、研修センターの先生が直接こう、こういうふうに指導してるというのを生の声で伝えるというような、そういった動画を出しております、実際、運転手になられるかたの御不安など、そういったところを解消しながら採用活動を強化しているところでございます。

また今後ともおもてなしきっぷ、今年度以降も続けていくものと思っておりますので、お互い頑張っていきたいと思っております。

以上でございます。

○会長

はい、ありがとうございます。

神姫バスさん、私も聞いた話では、各消防署、三木市の消防署もそうですが、消防署職員は大型の免許を持っておるということで、各消防署を回られて採用活動もされてるということですので、人手不足というのはすごいんだなと思うんですね。

○●●委員

消防署様、やはり我々の事業とよく似通ったところがあって、不規則勤務というか、そういういったところにも耐え得るかたがたかなと思っておりますので、ぜひとも、ぜひともということでございます。よろしくお願いいたします。

○会長

ほかに御意見、御質問はございますでしょうか。

そしたら、どうぞ。

○●●委員

すみません、両事業者さんにお聞きしたいのは、神戸市内の取組になっちゃうんですけど、昨年１０月から高校生の通学定期を無償化するというのをやっておられてますけれども、粟生線沿線でそれで通学定期の売上げに少し変化があると、そんなことは何かあるでしょうか。ないしは分析されてますでしょうか。

○●●委員

無償化でかなり増えているということは、顕著には出ておりませんが、比較的通学定期については堅調な動きになってございます。ただ、弊社の沿線というのは、けっこう坂が多いものですから、実はもう自転車で行かれているかたが少ないものですから、自転車から鉄道に乗り換えている、ただだから乗り換えるということがあまり顕著に起こってないというようなところでございまして。実は神戸市営地下鉄さんにお聞きすると、やはり平地の部分が多いところは、そういうふう置き換わったりということが顕著に見られるんですけど、弊社については、割と坂が多いものですから、そのところは転用は少ないというふうに見ております。

○会長

どうでしょう、バスに関しては。

○●●委員

我々も高校生の御利用が多くなっているように聞いております。特に田舎のほうの、神戸市北区のお話で行きますと、我々ができることとして、神戸市内の町のほうの学校に行きたいかただとか、そういったかたでも公共交通を使っていけないというかたがやっぱりいらっしゃるというふうに去年の地域での勉強会でお話いたしましたして、そういった高校生のかたが通学できるようなダイヤの変更だとか、そういったところを工夫しながら、あるいは、既存の生徒も乗り継ぎをしながら、町のほうの学校に通えるとか、そういったダイヤ的な工夫もしております。

利用が増えていっているところもありますし、またこれから徐々に増えていこうと思われるところ、そういったところも我々、意識しながらダイヤ改定をしているところでございます。

○会長

ほかに御意見、御質問ございましたら、挙手にてお願いいたします。

よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

大丈夫でしたら、本日の議事事項及び報告事項は全て終了いたしました。

本日会議全体としまして、何か御意見等ございますでしょうか。忌憚なくよろしく願いします。ないですか。

小野商工会議所の●●さん、何かしゃべりたいことはないですか。突然振ってすみません。

○●●委員

小野商工会議所の●●です。

しゃべりたいことじゃないんですけど、さきほど●●さんから話がありましたけど、大村と樫山の人数のことですけど、前回は質問しましたけど、私、持ち帰りまして、匠工業会に確認いたしましたら、サイゼリアさんとプレミアキッチンさんが3交代勤務で朝、早く帰るかたがた、これがらんらんバスがないんで、歩いて、本来、樫山へ行くところが発車前、行くところが、大村のほうに近いということで、大村まで歩いていく。その移動をされるかたがたがいらっしゃって樫山と大村の乗降客が入れ替わってるということだと聞

いています。

それで、匠工業会のほうは、三木から通う方が非常に多く、特に外国人のかたが三木に安価な住宅やアパートを借りるので、小野に住まずに三木に住まれて、三木から来られると。そのかたがたが大村から乗って檜山に行ってらんらんバスに乗るという流れのようでございます。

副市長、いらしてですけど、小野に安価な家をつくっていただくと、栗生線に乗ることなくですね、それもプラスになりませんが、三木に安価なのをつくっていただくと、電鉄に乗る客が増えるのかなと、そんな話です。

以上です。

○会長

突然振ってすみません。私も勉強不足かもしれませんが、三木は非常に家主さんが言われてるからなのか分かりませんが、住宅地が高い、高いということで、けっこう我々の分析では小野に住まれているという分析でして、貴重なお話を聞かせていただいたと思ひまして、またこちら、三木市としても分析させていただきます。突然振って申し訳ありません。

ほかはございますでしょうか。

はい、どうぞ。

○●●委員

すみません、兵庫県交通政策課のほうから、情報提供というか、配布資料にあるんですけども、すみません、利用促進の取組の一助になればということで、この栗生線を含む3線の駅カードの配布を行いたいと思っています。駅カードというのは、こういうプレートカードで小っちゃいような、このカードで駅の写真、表に駅の写真と、裏に駅の概要みたいなのを書いたカードなんですけども、それを栗生線、加古川線、北条鉄道の全駅、49駅分のカードをつくりまして、それを夏休みの前ですね。夏休み期間中を含む10月までを配布をさせていただこうかなと。

配布するのは、対象となる駅は、8つ市があるわけですけども、8市、各市ごとに配布場所を設けておりまして、例えば、栗生線で予定している配布場所は、神戸市の配布場所という、北区文化センターですとか、三木市という、三木市観光協会、小野市という、好古館で、そこで、おのおのそこに訪れて、当然鉄道を使ってですけども、訪れていただくと、神戸市の配布場所では、神戸市分の押部谷から鈴蘭台駅の8駅の駅カード、全

てそこでもらえるんですけども。それで三木でいくと、三木の大村から緑が丘の7駅がもらえて。それで、小野市でもらえて。その3つ行けば、一応粟生線のカードは全てコンプリートするというようなことを考えています。

それで、全てこの49駅3線とも回ったら、いろいろと商品とか、こういったカードホルダーみたいな、こういったものを配布して、一応これでどれだけ利用促進の一助になるか分からないんですけども、鉄道マニアを含めて、そういったところを夏休み利用して、こちらのほうに来ていただきたいなと思って、こういう事業をさせてもらおうと思ってます。

○会長

はい、ありがとうございます。

鉄道マニアって需要がありますので、私どもも打ち出したのが、先般、吉川の山田錦の里を道の駅よかわと開駅しましたら、ゴールデン・ウィーク以降、今でも非常に客が多いんですが、やはり道の駅マニアという人がずっと入ってこられてるということを聞きましたので、どこにもいい意味でのマニアというかたがたくさんおられると思います。ありがとうございます。

また、神戸新聞さん、お越しですので、記事にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

ほかに御質問ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○会長

はい、なければ、マイクを事務局に返します。

○事務局

●●会長、進行をどうもありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、協議会の副会長でございます小野市の●●副市長に御挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○副会長

小野市の●●でございます。

本日は慎重に御審議いただきまして、ありがとうございました。

また、貴重な御意見ですね、皆様がたからいただきまして、私も気づきが多かったように思います。

その中でも、さきほどありましたけれども、鉄道マニアといいますと、私も去年の秋に神戸電鉄さんのフェスティバルに、鈴蘭台のほうであったものに行かせていただいたら、これほど人がいたのかというほどそちらのほうにたくさんいらしてて、このかたがもう少し神鉄に乗ってくださったら、こんなに苦勞することないんだろうなというふうに思った次第で。あのイベントがもう少し神戸電鉄、乗る区間の長いところで、小野とか三木とかでももしもできれば、もっともつとにぎわいがこちらのほうまで引っ張ってこれるのになというふうに思ったところがあります。

それから、さきほど●●会頭のほうから話がありました大村駅さんで工業団地に来られてる従業員さんが非常に多いのではないかという話があつて、私もちょっと、これ、平日ではないんですけども、休みの日に大村駅にその時間いたんですけども、本当に工業団地のバスがそのまま大村駅に来て、何十人単位で降りられて乗られてたという風景を見まして、どちらかというと、やはり小野の工業団地というのが三木と小野の間ということはないんですけど、そこにありますので、どちらの駅に乗られるかというのが会社の選択で、やはり三木のほうに行くと料金が安くなるので、そちらに送られてるというふうなこともあるのかなと思いました。

ただ、我々の努力としましても、らんらんバスというバスを工業団地のほうに今、走らせておりますので、できるだけ小野市の駅まで神戸電鉄にお乗りいただいて、そこから工業団地に行っていただくということを。また、いろんなバスのアクセスをもう少しよくするというふうな努力もしてまいりたいというふうに考えておるところでございます。

いずれにせよ、神戸電鉄がなくなる、それから公共交通がなくなるということは、非常に脅威です。特に今、我々小野市だけの問題なんですけれども、イオン小野店が一時閉鎖をしておると。非常ににぎやかだった市役所の周りが、本当に閑散というか、夜になると非常に寂しい状況で。これが、イオンさんは恐らくまた戻ってこられると思うんですけども、もしも神戸電鉄とか神姫バスさんでこういうのがなくなってしまうと、非常に末恐ろしいというように感じておりますので、やはりちょうどこれも我々、気づきを持つよい機会だと今、捉えておりますので、やはり沿線住民として、しっかりと我々も協力して末永く公共交通が生きていけるように努めてまいりたいと思いますので、皆様も御理解、御協力をお願いしたいと思います。

本日は本当に御苦勞さまでございました。

○事務局

副会長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして第54回神戸電鉄粟生線活性化協議会を閉会いたします。

次回の協議会の開催につきましては、9月頃を予定しておりまして、協議事項として、本日も何度か話が出ました来年度に向けた国への要望事項について御審議いただきたいと考えております。次回も御出席いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。